



デザインフォーラムビジネスデザインシリーズ 第7回

QoL
Quality of Life

の実現に向けたパナソニックの挑戦

ーサービスソリューション、ビジネスモデルの変革を通じての取り組みー

講演者

竹川 禎信氏 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 専務

1980年京都大学工学部金属加工学科卒業、同年松下電工株式会社へ入社。電気接点材料の研究開発の後、1993年理美容商品(特に電気かみそり)の商品開発、2000年より理美容商品の商品企画/マーケティング企画を担当し、電気かみそりブランド化(ラムダッシュ)にも取り組む。2006年より配線器具事業部長、2009年より情報機器事業本部長を歴任、配線器具事業をベースとして新規事業開発や海外M&Aを行う。2010年より技術副担当、2013年より技術担当に就任し、現在に至る。この間社名は2008年からパナソニック電工株式会社、2012年からパナソニック株式会社エコソリューションズ社となる。



人々は、常により良い暮らしを目指しています。また、時代、社会的背景により「良い暮らしに求められる」要望も異なり、それぞれの変化に応じた対応が必要となってきます。パナソニックでは創業以来、それぞれの時代に応じた人々の「良い暮らし-QoL (Quality of Life)」を目指して取り組んできました。1918年の創業の商品アタッチメントプラグは電気が普及してきて“明かり”だけでなく他の用途にも利用できるようにと開発されました。また高度成長期ではより多くの電気製品を手軽に安全に使えるようにと、注力して参りました。そして、21世紀に入ると、より電気を多く使用するのでなく快適性は落とさずに電気の消費量を低減しようという方向で重点的に取り組んで参りました。

「良い暮らし」といえばその領域は多岐にわたりますが、今回は住宅を中心に商品だけでなく、快適な生活が送れるためのサービス、お客様とメーカーとの新たな接点を広げるビジネスモデルについて紹介、説明致します。

転換期を迎えているエレクトロニクス産業、新たな視点でチャレンジし続けるパナソニック、今回は幹部が自ら事例を交え、生の声で語っていただきます。皆様で「良い暮らしQoL (Quality of Life)」とは何か、それを実現するサービスとは何か、それを如何にビジネスに導いていくか、様々な観点から議論をする中で多くを学び、次世代のビジネスデザインに繋げて行きましょう。

日時 12月14日(月) 17時30分～ (19時頃から懇話会)

場所 京都大学デザインイノベーション拠点 (KR P9 号館 506)

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/access/>

対象 京都大学教員・学生、デザインイノベーションコンソーシアム会員、一部招待者

定員 40名程度

参加費 無料 (懇話会 1000円)

主催 京都大学デザイン学大学院連携プログラム / デザインイノベーションコンソーシアム

運営 貫井 孝 (京都大学デザイン学ユニット特任教授)

申込 <https://pro.form-mailer.jp/fms/68e367fb87133> (事前申し込み要)

締切 2015年12月7日 (月)

問合せ デザインイノベーションコンソーシアム 事務局

京都リサーチパーク (株) 山口

メール: info@designinnovation.jp

電話: 075-315-8522